

「進路研究講座」開催

進路研究講座では、生徒が自分の将来をイメージして、それを実現するには、どのような学部学科に進学すればよいかを探究します。どの分野の研究の話聞いてみたいか自分で選択し、事前学習として自分が選んだ分野について、どんなことを研究されているかなどを大学や各研究室のホームページを調べて講座に臨みました。

今年度は、12大学14分野の先生方に来ていただき、それぞれの分野の研究について約100分の講演をしていただきました。大学で学習する専門的な内容を高校生にも分かりやすい形でまとめていただき、生徒にとって深い学びの時間となりました。もちろん、難しい内容もありましたが、生徒はメモを取りながら熱心に聞いていました。講義の後の生徒からの質問にも快く答えていただきました。



生徒の感想

- 法律関係の仕事に就くにはAという側面から見るだけでなく、B、Cの側面から見なければいけないことが分かったので、いろいろな側面から物事を見る力を養っていかねばならないと思った。どんな進路に進もうとも、高校で学んでいる「国語」「数学」「英語」を学ぶということがとても大切なことだと話された。また、自分のやりたいことに少しでも興味をもつことが大事だということも分かった。この進路研究講座を通して、自分の進路をじっくり考えていきたいです。
- プラズマはガンを治すだけでなく、手術の際に電気メスを使ったときの止血が出来たり、炎症の直りを早くする効果があったりすることが分かりました。だから、プラズマの研究を進めることで、がん治療以外の様々な場面でも役立つ可能性があることを理解することが出来ました。今薬学に関して出来ることはなくても、自分が少しでも興味を持ったことに対して積極的にどんどん調べていったりすることは大切なことだと大学の先生が話していました。私はまだ自分から積極的に行動することが出来ないのですが、少しでも自分から行動できるように頑張っていきたいと思います。